

新たな管理運営体制で 世界に誇れる山岳国立公園を目指す

～妙高戸隠連山・尾瀬の協働型管理運営体制に学ぶ～

日時：平成31年1月28日（月）14:00～17:00

場所：道北アークス大雪アリーナ多目的ルーム

プログラム

開会

大雪山国立公園連絡協議会会長（上川町長） 佐藤 芳治

趣旨説明

「大雪山国立公園の協働型管理運営体制構築を目指して」
環境省上川自然保護官事務所 榎 厚生

事例発表 < 妙高戸隠連山国立公園 >

「“温故知新、そして、日本一愛される国立公園”に向けた妙高市の取組」
妙高市環境生活課長 岡田 雅美 氏
（講演者紹介：信越自然環境事務所 国立公園課長 玉谷 雄太）

事例発表 < 尾瀬国立公園 >

「新・尾瀬ビジョンの行動理念実現に向けて ～尾瀬業務1年生の欲張り仕掛け～」
東京電力ホールディングス株式会社 リニューアブルパワー・カンパニー
水利・尾瀬グループ課長 川崎 一弘 氏
（講演者紹介：片品自然保護官事務所 庄司 亜香音）

（休憩）

パネルディスカッション

「大雪山国立公園で目指す協働型管理運営体制について」

コーディネーター：北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲 哲也 氏

パネリスト：岡田 雅美 氏 妙高市環境生活課長

川崎 一弘 氏 東京電力ホールディングス株式会社

リニューアブルパワー・カンパニー 水利・尾瀬グループ課長

青野 範子 氏 一般社団法人かみふらの十勝岳観光協会 会長

西木 光英 氏 上川町産業経済課 課長補佐

榎 厚生 環境省上川自然保護官事務所 首席自然保護官

閉会

環境省北海道地方環境事務所 統括自然保護企画官 大林 圭司

講演者等ご紹介

岡田 雅美 氏 妙高市役所 環境生活課長

昭和63年当時の新井市役所に入所、平成17年度の市町村合併を経て、平成29年度より現職。平成27年3月の「妙高戸隠連山国立公園」誕生の際には市担当者として関わるとともに、新たな国立公園発足後は、官民協働の組織として生命地域妙高環境会議を発足させ、環境省を始めとする関係機関と連携する中で、国内最北限の生息地とされる火打山でのライチョウ保護等に取り組んでいる。

環境省信越自然環境事務所 国立公園課長 玉谷 雄太

平成18年環境省入省、平成28年から現職。妙高戸隠連山国立公園、上信越高原国立公園、中部山岳国立公園の管理を総括。妙高戸隠連山国立公園連絡協議会の発足後、主に協議会運営に従事しており、同公園の管理運営計画の作成やロングトレイルの設定、情報発信等に取り組んでいる。

川崎 一弘 氏 東京電力ホールディングス(株)リニューアールカンパニー 水利・尾瀬グループ課長

平成4年東京電力(株)入社、平成29年11月の現職着任後ようやく1年経過。これまで土木技術者として電力設備の建設等に従事、現在は尾瀬国立公園内の木道管理を担当。環境省をはじめとする尾瀬を愛する関係者の熱い思いや行動に心が動き、尾瀬国立公園の未来に向けて、関係者の皆様とともに取り組んでいる。

環境省片品自然保護官事務所 自然保護官 庄司 亜香音

平成27年環境省入省、平成29年6月から現職。大学では獣医学を専攻し、野生動物と地域の人々のよいバランスを取っていきたいと思いレンジャーの道を選んだ。地元の関係者の方々と協力しながら尾瀬国立公園の協働型管理運営やシカ対策に取り組んでいる。

パネルディスカッション コーディネーター・地元からの登壇者ご紹介

コーディネーター

愛甲 哲也 氏 北海道大学大学院農学研究院准教授

専門分野 緑地計画学、特に自然保護地域・公園の計画・管理。
レクリエーションによる自然環境へのインパクトのモニタリングと対策、自然保護地域の管理を中心に研究。大雪山の登山道管理水準、利尻山の登山のあり方検討、沖縄県の持続可能な観光地づくり、知床世界自然遺産のエコツーリズム戦略、礼文島の生物多様性戦略などに関わり、自然観光地の適正利用について研究と実践を行っている。また、市民団体の「山のトイレを考える会」において、ローインパクトな登山の普及に取り組む。

青野 範子 氏 一般社団法人かみふらの十勝岳観光協会 会長

十勝岳温泉 湯元 凌雲閣経営。大雪山国立公園の地元観光協会・民間事業者の立場から御参加いただく。

西木 光英 氏 上川町産業経済課 課長補佐

上川町役場で商工観光を担当。大雪山国立公園の地元自治体の立場から御参加いただく。

榎 厚生 環境省上川自然保護官事務所 首席自然保護官

大雪山国立公園担当。協働型管理運営体制の構築をはじめ、同公園の管理運営に取り組んでいる。

メモ